

## 第5回（仮称）さっぽろ未来医療プラン策定専門委員会会議における主な意見等

### 1 委員の出欠状況

13人中13人出席（欠席者なし）

### 2 主な意見

#### (1) さっぽろ医療計画の最終評価について

- データブックは委員の手元に届いた時点で公開（各団体で供覧）してよいか。  
→ 構わない。来週（9月18日の週）には届くよう準備を進めている。
- 健康診断の受診率について、実際にはかかりつけ医などがチェックしている部分もあるので、次回調査方法を工夫したほうがよいのではないかと。受診率は医療費適正化計画に反映されて医療機関の負担軽減にも繋がる。  
健康診断の受診率の実態を把握するために、慢性疾患で病院にかかっている人をスタンプかサインなどで把握する、またはマイナンバーとレセプトの突合などのIT化などの案。  
→ 調査方法について検討したい。
- 医療ガイド普及について、作成物を広報さっぽろなどと一緒に配布できるようなシステムにしてはどうか。  
→ ガイドの作成、配布は医療政策課で対応できるが、配布方法は広報部との協議及び予算立ての必要がある。
- 札幌市が後援に入るセミナーなどでは、市の施策と合っているか後援内容を確認し市民に誤解を与えないようにしていただきたい。
- 「新型インフルエンザ等対策の実施」が施策4の「災害時医療体制の強化・広域連携の推進」の項目に入っているのに違和感。札幌市の防災計画に新型インフルエンザは入っていない。  
→ 突発的な事態などを広く含めているのでこの項目に入れているが、記載表現を見直したい。
- 大規模災害時の病院間連携については検討しているのか。  
→ 災害医療体制検討委員会の方で別に検討している。

#### (2) さっぽろ医療計画2018（案）について

- 85P「在宅における看取り件数」が目標1,200件となっているが、どこから持ってきた数値か。誤解を生みやすい数字ではないか。  
→ 年間100件増えているので単純計算をして予想件数として載せている。アンケートの結果も考慮している。誤解のないよう記載内容について検討する。
- 84Pの在宅医療提供体制に、札幌歯科医師会の地域医療係を入れていただく

と極め細やかな対応ができる。

→記載内容について調整する。

- 104P、107Pの高齢者口腔ケア研修事業を、表の中だけでなく101Pのほうにも入れていただきたい。

→記載内容について調整する。

- 100P、「危険ドラッグ等の薬物乱用防止対策」で「保健・医療に関する情報発信と普及啓発を強化します。」に「関連機関と協力して啓蒙する」というような文言は入れられないか。

→推進する基本施策なのでこの文言に留まっており、後ろに具体施策を載せている。参照等について追記を検討する。

- 第9章はA3見開き、縦表になるよう調整する。説明文も追記する。

- 84Pの在宅医療提供体制に、管理栄養士も入れていただきたい。

→了解した。掲載場所については検討させていただく。

- 84Pの在宅医療提供体制のリハビリ職のところに、PT、OT、STも記載いただきたい。

→フォント調整して掲載する。

- 摂食機能障害についてはどこかに記載するのか。

→多職種連携の中でやっていくもので、記載場所も難しく、検討し可否を判断する。

#### 施設内での看取りについて

- 施設内での看取りと救急搬送の問題についてどうしていくか。

- 施設入居者にはほとんど担当医がついていて、緊急時でも救急医療ではなく主治医を頼るよう医師会で啓発している。

- 救命及び尊厳死等については強制できる問題ではないが様々な検討がされている。

- 仕組みの問題は別にして死生観の問題には行政が踏み込むべきではないのでは。

#### (3) 今後の策定スケジュールについて

- 質疑・意見なし

### 3 決定事項

- ・修正後、保健所運営協議会の報告内容については改めて情報提供の上、29日に報告。
- ・市民がわかりやすいよう概要版を作成。